

2013年 12月2日	日仏社会学会ニュース	No. 38 日仏社会学会事務局
----------------	-------------------	---------------------

<記事>

1. 2013年度日仏社会学会総会から

- (1) 総会における決議事項 (2) 会務報告 (3) 2011年度会計報告ならびに2013年度予算
(4) 日仏社会学会奨励賞受賞者の紹介 (5) 『日仏社会学会年報』の電子公開に関する報告

2. 『日仏社会学会年報』の電子公開について

3. 会員業績の年報掲載について

4. 『日仏社会学会年報』(第25号)への投稿論文等の募集について

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

6. 新入会員の紹介

7. 会費納入のお願い

1. 2013年度日仏社会学会総会から

10月26日(土)に東洋大学において、日仏社会学会総会が開催されました。

(1) 総会における決議事項

- 1) 2012年度会務報告並びに同年度会計報告を承認(各別掲)
2) 2014年度事業計画並びに予算案を承認(各別掲)

(2) 2012年度会務報告(2012年4月～2013年3月)

4月1日(日): 新HPへ移行。http://www.socio-nichifutsu.com/

4月30日(月): 『日仏社会学会ニュース』第35号を発行

5月28日(月): 日仏社会学会理事選挙(公示)

6月30日(土): 日仏社会学会理事選挙(投票締め切り)

7月7日(土): 日仏社会学会理事選挙(開票)

8月4日(土): 理事会(奨励賞、年報23号の発行について、24号の企画、「世界へのメッセージ」について、2012年度理事選挙結果)(於 関西学院大学大阪梅田キャンパス1402号室)

: 研究例会 磯直樹(フランス国立社会科学高等研究院博士課程、大阪市立大学都市文化研究センター)

「パリ『郊外』における柔道実践—『文明化の過程』と越境」

司会 菊谷和宏(和歌山大学)

11月17日(土): 2012年度日仏社会学会大会・総会開催(於 西南学院大学)

: 理事会(十分な査読期間の確保のために、第24号以降、毎年、締め切り日は3月31日、発行日は11月30日となることと理事会にて決定されました。)

: 総会(新役員体制の承認)

12月5日(水): 『日仏社会学会ニュース』第36号を発行

2013年

3月31日(日): 『日仏社会学会年報』第23号発行

(3) 2012年度会計報告ならびに2014年度予算

2012年度会計<2012年4月1日－2013年3月31日>

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
繰越金	373,903	印刷費	135,595
入会金	5,000	通信費	75,550
年会費	409,000	事務用品費	7,352
受取利息	16	交通費補助	61,400
雑収入	5,000	雑費	23,675
		バイト代	26,100
		ホームページ	20,940
		繰越金	442,307
合計	792,919	合計	792,919
<次年度繰越金>			
預金の部	銀行口座（三井住友銀行）		269,303
	郵便振替口座		2,740
現金の部	事務局預かり		170,264
計			442,307

2014年度予算案<2014年4月1日－2015年3月31日>

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
繰越金	400,000	印刷費	160,000
年会費	400,000	通信費	50,000
雑収入	20,000	事務用品費	10,000
		交通費補助	70,000
		雑費	40,000
		アルバイト代	25,000
		ホームページ	20,000
		予備費	445,000
合計	820,000	合計	820,000

注記：繰越金額は2012年度末までの入金状況および出金状況を勘案した見込みです。

2014年度事業計画

- 1) 2014年度日仏社会学会大会開催
- 2) 『日仏社会学会年報』25号の発行
- 3) 研究例会の開催
- 4) その他

(4) 日仏社会学会奨励賞受賞者の紹介

鳥羽美鈴氏（関西学院大学・准教授）が日仏社会学会奨励賞（著書の部）を受賞されました。受賞対象著書は『多様性のなかのフランス語—フランコフォニーについて考える』（関西学院大学出版会）です。なお、懇親会において授与式が行われました。

(5) 『日仏社会学会年報』の電子公開に関する報告

本学会誌『日仏社会学会年報』の掲載論文等を、CiNiiサイトにおいて電子公開を行うことに関して報告しました。詳しくは、次の「2. 『日仏社会学会年報』の電子公開について」参照のこと。

2. 『日仏社会学会年報』の電子公開について

近年のインターネット普及の状況に鑑み、本学会誌『日仏社会学会年報』の電子公開を行うことになりました。国立情報学研究所電子図書館に学術雑誌として登録し、CiNiiサイトにおいて、本学会誌創刊号からの論文情報の提供と論文の電子公開（本文の電子公開は最新号を除く）を行う予定です。本学会の研究成果を広く公開し、社会における学術的貢献に資する学会活動を継続的に進めていく所存です。

公開に先立ちまして、会員の皆様には、ここに電子公開のご承諾をお願い申し上げる次第です。なお、この件に関しましてご了承いただけない場合、あるいはご不明の点がある場合は、2014年1月15日までに本学会事務局（nichifutsusocio@gmail.com）までお申し出ください。

お申し出のない場合には、ご承諾いただけたものとし、電子公開する準備が整いました段階で公開させていただきたいと存じます（来年度を予定）。ただし、公開後の皆様からの公開取り下げのご要望には、その都度柔軟に対応させていただきます。

3. 会員業績の年報掲載について

日仏社会学会では、日仏社会学に関連する会員の業績を募集し、毎年刊行の『日仏社会学会年報』にて紹介しております。

送付締め切り：2014年3月31日（必着）

2013年1月1日～12月31日までに発行された業績5点まで（論文、報告書、翻訳）。

業績の記載方法：編集の都合上、『社会学評論』のスタイル・ガイド、「文献」記載方法の通りでお願いします。（文字ポイントは10.5、フォントはMS明朝とCentury）

（単著の本）著者名、出版年、『タイトル—サブタイトル』出版社名。

（共著の本）ファーストオーサー氏名・共著者名、出版年、『タイトル』出版社名。

（編著論文）著者名、出版年、「論文タイトル」著者名編『本のタイトル』出版社名。

（雑誌論文）著者名、出版年、「論文タイトル」『雑誌名』巻（号）：論文のページ（例315-505）。

（翻訳書・翻訳論文）原典書誌情報（＝翻訳の出版年、訳者名訳『訳書のタイトル』出版社名。）

送付の方法：Eメール。ご送付の際には、お名前とご所属もお伝えください。

送付先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp（岡山県立大学、近藤理恵宛／電話番号：0866-94-2192）

また、日仏社会学年報に著書、翻訳書（共著、共訳可）の書評を掲載されたい学会員は、日仏社会学会編集委員会まで、メールで、ご氏名、著書名ないしは翻訳書名、出版年、出版社名をお知らせください（宛先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp）。書評対象は、近年、学会員がご執筆された①日仏社会学、②フランス社会（社会思想史を含む）、③日仏社会の比較に関する著書、翻訳書（共著、共訳可）です。自薦、他薦のどちらも受け付けております。

4. 『日仏社会学会年報』(第25号)への投稿論文等の募集について

2014年度発行予定の『日仏社会学会年報』(第25号)への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、書評に関しては、随時受付しております。

(1) 原稿締め切り：2014年3月31日

(2) 発行日：2014年11月30日

*十分な査読期間の確保のために、第24号以降、毎年、締め切り日は3月31日、発行日は11月30日となることが理事會にて決定されました。

(3) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛(『日仏社会学会年報』編集事務局)

電話 0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

(4) 投稿規定 (※今回、12)が新たに追加されました)

1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会(社会思想史を含む)に関するもの、(3) 日仏社会の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。

2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。

3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度

(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)

4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内

(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)

5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。

(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)

6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。

7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名(英文付記)と所属、著者の連絡先(住所、電話、ファックス、Eメールアドレス)を書いた用紙1枚も送付のこと。

8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。

9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。

- ・ 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
- ・ 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
- ・ 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。

10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。

11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

「日仏社会学会奨励賞」の候補を下記の要領で募集します。自薦他薦を問いませんので積極的に推薦をお願いします。

◇本賞の対象◇

- (1) 候補者の資格： 本賞の対象者は、日仏社会学会の会員であり、かつ論文に関しては発行時において大学院修士課程入学後13年以内、著書（翻訳書を含む）に関しては18年以内の者とする。
- (2) 対象となる業績： 原則として当該年度（2014年）の前年（2013年1月1日～12月31日）において出版された、日仏社会学及び日仏に関連づけられた研究についての著書、論文及び翻訳書のうち著者の申請または推薦者以外の会員及び候補作推薦委員によって推薦された研究業績とする。
- (3) 推薦の締め切り： 2014年3月31日（必着）で、対象となる出版物1部と推薦書を事務局宛に提出してください。（※推薦書の統一的な書式はありませんが、A4ワープロ用紙に、候補者の氏名、連絡先、生年月日、所属、略歴と業績、対象出版物の書名を記載してください。）
事務局：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学人間福祉学部内（山泰幸 研究室）
- (4) 受賞者の選考： 当該年度の理事の中から互選された候補作推薦委員3名と、候補作審査委員3名をもって構成される日仏社会学会奨励賞選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- (5) 公表・表彰： 『日仏社会学会ニュース』『日仏社会学会年報』などで公表し、総会において表彰される（賞状と記念品）。

6. 新入会員の紹介

山本由美子（北海道文教大学）、赤羽悠（東京大学大学院）、松本隆志（関西学院大学大学院）

7. 会費納入のお願い

2013年度会費を納入下さいますようお願いいたします。2010、2011、2012年度会費未納の方は、これも併せてご納入下さい。なお、会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。同封の振替用紙にて宜しくお願いいたします。

日仏社会学会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学人間福祉学部内（山泰幸研究室）

TEL/FAX 0798-54-6953, nichifutsusocio@gmail.com

<http://www.socio-nichifutsu.com/>

郵便振替口座 00960-6-278804 口座名 日仏社会学会